



# JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

# 国語の学習

## 小学校

## 五年生

## 七月 第②週

〈麦畑〉





## みなさんにお知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
  2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って  
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 [Akiko@JPNCClass.com](mailto:Akiko@JPNCClass.com) です。
  - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から  
印刷やダウンロードができます。



## お家の方へ

1. 授業で使う文章を印刷する際、お子さんのお手伝いをお願いします。
  2. ノートは特に規定はありませんが、漢字学習用と国語のノートの2冊を用意してあげてください。
  3. 質問や作文などの添削はメールで随時受け付けています。積極的に送るように、声掛けをお願いします。
- ❖ メールアドレスは、 [Akiko@JPNCClass.com](mailto:Akiko@JPNCClass.com) です。
  - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から印刷やダウンロードができます。

① 授業で使う文章を印刷してください。



## 印刷の仕方

1. Webページ <http://JPNCClass.com> へ行きましょう。
2. YouTube授業をクリックしましょう。



JPNClassは、海外に暮らす子どもたちとご家族をサポートする目的で開設されました。子どもたちにオンラインでの国語などの授業を提供します。また、ご家族と海外での日本語教育や子育てについて共に考える講演会やセミナーを開催します。

授業は、オンライン授業（Zoom）、ビデオ（Youtube）を通して提供します。現在お住まいの地域に日本語補習校など日本語を学ぶ学校がない、行く時間がない、あるいは自分のペースで日本語の勉強を進めたいといった子どもたちに最適です。

詳しくは、オンライン授業、YouTube授業、講演会・セミナーのページをご覧ください。



# 印刷の仕方

3. 小学5国語の教科書をクリックしましょう。



トップ [YouTube 授業](#) ▾ オンライン授業 講演会・セミナー 講師プロフィール お知らせ  
ご意見・連絡先

日本語で学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

## YouTube 授業

小学4年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



小学5年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



小学6年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



中学1年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



# 印刷の仕方

4. 小5国語 7月第2週 〈スライド (PDF)〉をクリックしましょう。

 **JPN Class**  
Online school - 日本語で学ぶ

トップ YouTube 授業 オンライン授業 講演会・セミナー 講師プロフィール お問い合わせ  
ご意見・ご連絡

日本語を学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

## 小学5年国語

YouTube チャンネル小5国語 (チャンネル登録をしよう)

YouTube ビデオ & スライド ライブラリー

7月

小5国語	7月第1週	<a href="#">&lt;YouTube ビデオ&gt;</a> <a href="#">&lt;スライド (PDF)&gt;</a>
小5国語	7月第2週	<a href="#">&lt;YouTube ビデオ&gt;</a> <a href="#">&lt;スライド (PDF)&gt;</a>
小5国語	7月第3週	<a href="#">&lt;YouTube ビデオ&gt;</a> <a href="#">&lt;スライド (PDF)&gt;</a>
小5国語	7月第4週	<a href="#">&lt;YouTube ビデオ&gt;</a> <a href="#">&lt;スライド (PDF)&gt;</a>

麦畑

アリスン・アトリー作  
矢川 澄子 訳  
片山 健 絵

あたたかい、かぐわしい夏の夕べ。空にはお月様。星が二つ三つ。その光に、おかの原っぱは、一面、青白い銀のシートを広げたみたいでした。

ハリネズミが一びき、生けがきぞいに、野道をぶらぶらやつて来ました。楽しそうに、鼻歌を口ずさみながら。

「お月さんのランプに  
お星さんのろうそく  
夜ことほるばる  
さまよう おいら」

か細い声にトントン、足拍子がまじります。せなかのはりに夜風がさわやかです。

森では、ナイチンゲールがなやましげにさえずっていました。ハリネズミは、見向きもしませんでした。ずうっと、自分の歌を口ずさんでいたのです。だれに



10

1



5.  がついているページを印刷しましょう。

## ②必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具（赤ペン、赤えんぴつも必要）

## ③気をつけること

- ・大事だと思うところはノートに書いてください。

- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。



- ・必要があるときは、ビデオを止めて、もう一度ビデオを見たりしてください。

## 先週の宿題

### 1. 漢字

新しい漢字、新しい読み方の漢字の練習をしましょう。

### 2. 音読

「こんな道があつたら」を読みましよう。

### 3. 作文 「町の様子を観察して」

書いた作文をもう一度読み返してみましよう。



# 漢字テスト①

読み方をノートに書きましよう。

経験

順序

横断歩道

桜なみ木

設置

勢い

事故

防ぐ

想像

設備

適切

交差点

去年

新緑



# 漢字テスト①

読み方をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

経験

けいけん

順序

じゆんじよ

横断歩道

おうだんほどう

桜なみ木

さくらなみき

設置

せっち

勢い

いきおい

事故

じこ

防ぐ

ふせぐ

想像

そうぞう

設備

せつび

適切

てきせつ

交差点

こうさてん

去年

きよねん

新緑

しんりよく



## 漢字テスト②

漢字をノートに書きましょう。

けいけん

じゅんじょ

おうだんほどう

さくらなみき

せっち

いきおい

じこ

ふせぐ

そうぞう

せつび

てきせつ

こうさてん

きよねん

しんりよく



## 漢字テスト②

漢字をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

けいけん

経験

じゅんじょ

順序

おうだんほどう

横断歩道

さくらなみき

桜なみ木

せっち

設置

いきおい

勢い

じこ

事故

ふせぐ

防ぐ

そうぞう

想像

せつび

設備

てきせつ

適切

こうさてん

交差点

きよねん

去年

しんりよく

新緑



## 麦畑

アリスン||アトリー作

矢川 やがわ 澄子 すみこ

訳

片山 かたやま 健 けん

絵



1

あたたかい、かぐわしい夏の夕べ。空にはお月様。星が二つ三つ。その光に、おかの原っぱは、一面、青白い銀のシーツを広げたみたいでした。

ハリネズミが一ぴき、生けがきぞいに、野道をぶらぶらやつて来ました。楽しそうに、鼻歌を口ずさみながら。

「お月さんのランプに

お星さんのろうそく

夜ごとはるばる

さまよう おいら」

か細い声にトントン、足拍子 びょうがまじります。せなかのはりに夜風がさわやかです。

森では、ナイチンゲールがなやましげにさえずっていましたが、ハリネズミは、見向きもしませんでした。ずうっと、自分の歌を口ずさんでいたのです。だれにも聞き取れないくらい、かすかな声で。

「こけのじゅうたんに

お日さんのだんろ

屋根は生けがきだよ

そこが、おいらのねぐら」

ナイチンゲール…かつ色の小さな鳥。美しい声で鳴く。

《新しい読み方の漢字》

足拍子



いい歌じゃないか。ハリネズミはつぶやきました。旅人の歌です。このハリネズミは、とりわけ、家にじっとしていられないたちだったのです。

昼間はずっと、生けがきのしたのあた  
たかい日だまりのかれ葉のベッドで、の  
つぽのシダややわらかいコケにかくれて  
ねむっています。それが、夜ともなれば、  
ぱつちり目を覚まし、月夜の冒険ぼうにくり  
出すのです。小さなけものたちって、た  
いていそうですけどね。

ハリネズミは、草むらの小道をたどつ  
ていきました。相変わらず歌を口ずさん  
で、上きげんです。

少しはなれたあたりには、広々とした  
道路も通っていました。ロンドンまで続  
く大きな道です。自動車やトラックが走  
ってきては、生けがきをまぶしく照らし  
出します。まるで、金の目玉のかいぶ  
つが、行く手にあるものなんでも、取  
って食うみたいです。あのけたたましい  
スピードはやりきれません。

《新しい漢字》

サ

覚ます

《新しい読み方の漢字》

ク

冒険

20

15

10

5



2



でこぼここのせまい小道や、青草の中の細道ならば、まさか、あいつらが追っかけてくることもないでしょう。シモツケソウの白いかわいい花がせなかにしだれかかるアーチの下や、やさしいヤナギランのしげみをたどっていけば。

あんなやつらには、草の葉のそよぎも聞き取れないし、白いガの群がる花のかおりだって、分かりっこありません。ハリネズミは、まわりのあらゆるもののそうした気配を、一つ一つかぎ分けながら、うきうきと進んでゆきました。

ようやく、木戸のある所にさしかかりました。低い棧さんにもたれているのは、ノウサギのジャックじいさんでした。

「やあ、じいさん、景気はどう。」  
ハリネズミは、人なつつこくよびかけました。

15

「まあまあだね。」  
ノウサギは、くわえていたわらしべを放すと、ハリネズミの方に向き直りました。

シモツケソウ…白やうすべに色の小さな花が  
集まってさく。

ヤナギラン…ヤナギの葉に似た葉で、赤むら  
さき色の花を付ける。

《新しい読み方の漢字》

はな  
放す





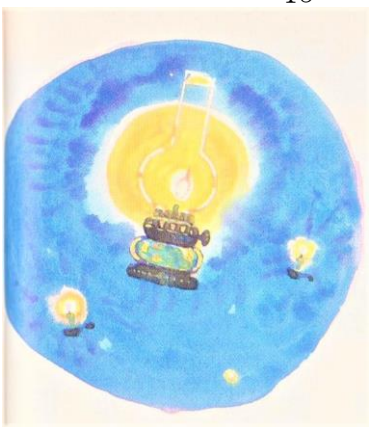
「そっちこそ、どうだい。」  
「このとおり、ぴんぴんしているさ。今日はいいい晩だねえ。」

「まったくだ。あんた、どこへ行く。」  
「ちよつと、あつちの畑まで。麦ののびるところを見たいんでね。ありや、いつ見てもいいもんだ。麦って、お月夜のたびに、少しずつのびるんだぜ。あんなすてきなところなんて、めったにありやしないさ。」

「わしもつきあうよ。」  
と、ジャックじいさん。

「なんか変わったことでもないか、とと思ってたんだ。今日は、カササギの夫婦と、ウサギ一、二ひきと、迷子のめんどりにしか会わなかった。せいぜい麦ののびるところぐらい、見とかなくちやな。」

「今夜は、空のランプが明るいねえ。」  
15  
「あんなで歩きだすと、ハリネズミが言いました。長すねのジャックは、小またのハリネズミに、ゆっくり歩調を合わせています。」



「あのランプは、黄色い、ほつとする光だもの。農場のやつらのちかちかやる懐中電灯や、自動車のきらきらしたおっかない明かりみたいに、目にこたえることもないし。」

カササギ・カラス科の鳥。カラスより少し小さい。

《新しい漢字》

《特別な読み方をする言葉》

夫婦 迷子





「あんなにすばらしいランプが空にあって、ただで世界じゅう照らしてくれてるのに、明かりをつけっぱなしだなんて、まったく気が知れないよ。いや、人間のすることって、わしにや、わけが分からん。」

5

「まったくくだ。」

ハリネズミはふふんとばかり、ちっちゃなこうべでうなずいて、はりをガサガサイわせる、かすかなかすかな声で歌いだしました。

10

「お月さんのランプに

お星さんのろうそく

夜ごとはるばる

さまようおいら」

二ひきは小川をわたりました。ノウサギはぴよんと、ひとつとび、ハリネズミは浅瀬<sup>せ</sup>をバシヤバシヤ、石や小枝伝いに。

15

水ぎわにカワネズミが一ぴき、暗い流れに足をひたしていました。

20

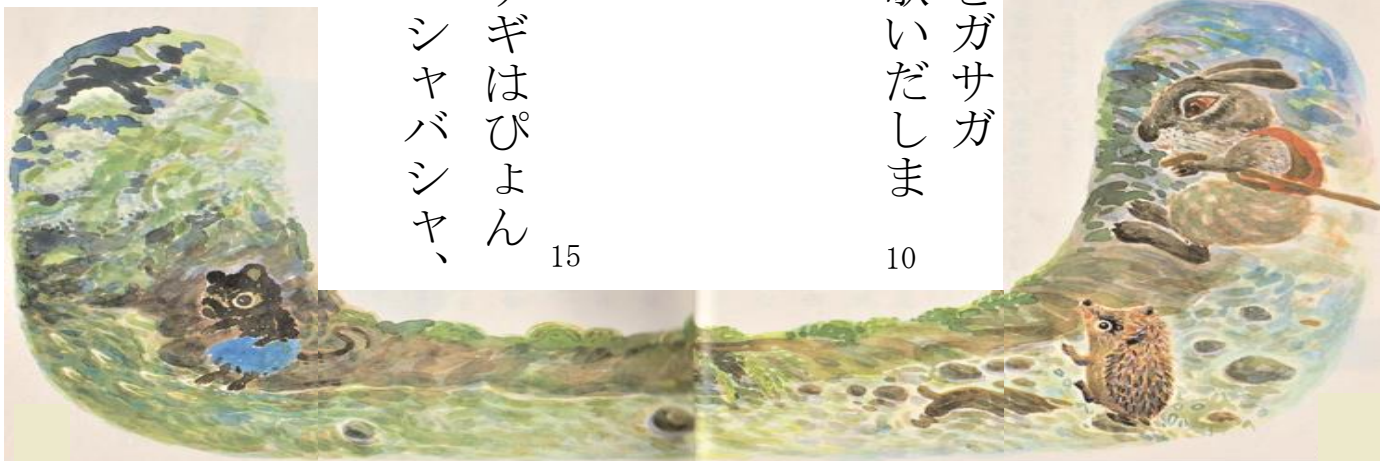
「やあ、こんにちは。景気はどうだい。」

と、ハリネズミ。

「どうってことないね。」

カワネズミは答えました。

25



5

「君たち、どっかへ行くところ。よかったら、うちでちよつとすずんでいかないか。ぼくの芸当をもらんよ。さざ波がみんな、つま先から次々に飛び立って、まるでツバメみたいだよ。」

「おれたち、畑へ、麦ののびるところを見に行くんだ。」  
ハリネズミが言うのと、ジャックじいさんも口をそろえます。

「麦のほののびるところをな。」

「そりやいい見物だ。みもの。行くだけのことはあるな。」  
カワネズミも乗り気です。

「麦のほが出そろって、風にゆれてるところを見ると、そりやむねがすうつとするものねえ。いっしょに行ってもいいだろ。今朝から、アヒルの夫婦とカエルの子にしか会ってないんだもの。少しはいいものを見たいよ。」

三びきは連れ立っていきました。とんがり鼻ときらきらまなこのハリネズミは、鼻歌まじりに。大きな茶色い目玉のノウサギは、前後左右に目を配りながら。そして、すべすべきれいな毛皮のカワネズミは、ちっちゃな団子鼻を突き出して。

月は、その間も、くまなく銀色に照りわたり、三びきの進むかたわらには、黒々とした三つのかげがならんでゆくのでした。

20



## 《新しい漢字》

ダン  
団子鼻



三びきは、しつとりとつゆの下りた草地をぬけ、しんじゆのようなしづくでのどをうるおしました。め牛の群れが道ばたにねそべっているそばを過ぎました。農場の馬が二ひき、仲良く草を食べているのにも会いました。スイカズラとノイバラのあまいにおいがします。ハリネズミは、また、例の歌を小声で口ずさみました。

ノウサギのわか者が一びき、月明かりの中を、かけ足で行ったり来たりしています。ハリネズミがよびかけました。

「やあ、おわかいの。なんでそんなにせかせかしてる。」  
わか者は立ち止まりました。夜のかすかないぶきに聞き入るように、長い耳をひくひくさせています。

「おれ、どうかしちやってるんだ。」  
わか者は答えました。

「月夜のせいだよ。こう明るいと、どうしようもなくとびはねたくなってね。止まらないんだ。ごめんよ。」

ノウサギのわか者はそれつきり、牧場をまっしぐらにかけだして、やがて見えなくなってしまうました。

「やれやれ、わしも昔はあんなふうだったが、今じゃもう、足がいうこときかんわ。」  
と、ジャックじいさんと。

スイカズラ…白から黄色に変わる花を付ける。  
ノイバラ…白やうすべに色の小さな花を付ける。

20



新しい読み方の漢字  
群れ

小高いおかに行き着いて、みんなは足をとめました。目の前に、かがやく小麦畑が広がっています。何かこう、見えないう手になでられているように、それはかすかにそよいでいました。夜の静けさについて、そのおびただしい麦のほの、さやさやという美しい音楽が、こちらにまで伝わってきました。お月様はなおも空にいて、広い麦畑を見守っていらっしやるみたいでした。大ぐま座ぎざがまなこを光らせ、こちらを見つめています。

「聞こえるかい。麦が何か言っているのが聞こえるかい。」  
ハリネズミがささやきました。

「麦でも、生きてるのかしらん。」  
きいたのは、カワネズミです。

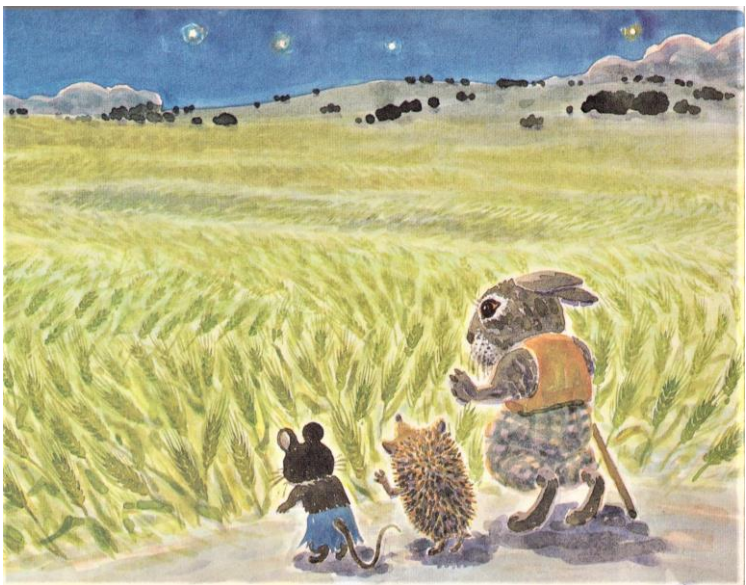
「見えるぞ、息しているのが。みんな、大きく息ついてら。」

と、ジャックじいさん。

「たいした見物だわ、麦畑って。」

「川の水そっくりだね。うちんとこの小川みたいに、さざ波だつて、ひそひそさやさや言ってる。」  
と、カワネズミ。

20



すらりとのびた小麦が一面に、見わたす限り畑をうめつくしています。それがまるで、ささやいているようなのです。夜風にゆれて、ほとほがこすれ合うその音は、さながら海のひびきでした。いく千いく万の声の、ひそひそとささやきかわすおしゃべりでした。

5

「これが好きでねえ。毎晩のように、ここまで来るんだ。」  
ハリネズミが言いました。

「麦のゆれるのをながめて、この音を聞く。それだけでいいんだよ。」

10

「ほんとに、聞いてるだけでほっとするねえ。」  
と、ジャックじいさん。

「だけど、何言ってるんだか。わしにや、さっぱり分かんねえ。言葉ってのは、どうも苦手だね。あれ、なんて言ってるんだ。」

15

「いや、そのう、うまく言えないけど。」  
ハリネズミは口ごもり、首をかしげて耳をすませながら、

「一つ一つの言葉は分かんないよ。だけど、なんだかぼくには、歌みたいに聞こえるんだ。ほら、そう思って聞いてごらん。」

20

ハリネズミは、ちっちゃな指をした手をかざしました。すると、いく千いく万の聲がささやさや歌いだしました。

25



「ぼくらは ぐんぐんぐん  
おいしいパンに なるために  
育つよ ずんずんずん  
大地のめぐみを すって  
ぼくらは小麦だ  
これからのびて  
みんなに食べてもらうんだ」  
三びきはすわりこみ、息をのんで、さやさや絶え間ない麦  
のほの合唱に聞き入りました。森のかげで、ナイチンゲール  
が鳴いています。空からは、お月様と星たちが見下ろしてい  
ました。

「ね、そうだろう。そう言ってるんだよ。  
麦って、のびて、実って、取り入れの  
時を待つ。麦って、生きてるんだね、  
ぼくたちみたいに。」

と、ハリネズミ。  
三びきは回れ右して、帰り道に  
つきました。

「おやすみ、おやすみ。」  
さあ、これでさよならです。  
「すばらしいながめだったね。わすれられないよ。  
取り入れ月までに、また、三人で行ってみよう。  
じゃあ、おやすみよ。」

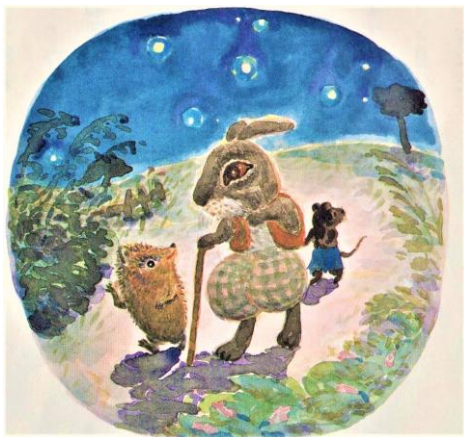
ハリネズミは、生けがきの下のねぐらを指して、ちよこち  
よこ歩きだし、ジャックじいさんは、木戸の所にもどってい  
きました。ちっちゃなカワネズミだけは、まだ長いこと、自  
分の小川の土手にこしかけて、水の音に耳かたむけながら、  
麦のささやきを思い出していました。

《新しい読み方の漢字》

絶え間ない



10



15

20

25

言葉の意味や使い方を確かめましょう。

① かぐわしい

よいかおりがする。

② 生けがき

木をならべて植えたかきね。

③ 口ずさむ

詩や歌などを、軽く声に出してうたう。

\*例文を書きましよう。

好きな歌を、歩きながら口ずさむ。

④ ねぐら

鳥のねるところ。

⑤ とりわけ

特に。ことに。

\*例文を書きましよう。

わたしはラーメンが好きだ。とりわけ、とんこつラーメンが大好きです。

⑥ 上きげん

たいへん機嫌きげんがいいさま。

⑦ けたたましい

あわただしくて、さわがしい。

\*例文を書きましよう。

けたたましい工事の音で、勉強に集中できない。

⑧ やりきれない

がまんができない。

\*例文を書きましよう。

かゆくてやりきれない。



⑩ わらしべ

稲のわらのしん。わらくず。

⑪ めったに

ほとんど。たまにしか。

\*例文を書きましよう。

えいがは、めったに行かない。

⑫ 気が知れない

こちらに相手の気持がわからない。わけがわからない。

\*例文を書きましよう。

あんな危険な所へ行く人の気が知れない。

⑬ 芸当

特別のおぼえるわざ。

⑭ くまなく

残るところなく。すみずみまで。

\*例文を書きましよう。

家の中はくまなくさがした。

⑮ なおも

あいかわらず。

⑯ 絶え間

と切れているあいだ。

\*例文を書きましよう。

車が、絶え間なく通る。





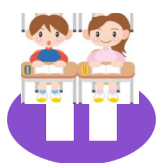
自然にたとえてみましょう。



「麦畑」では、麦のほのそよぐ音や様子が、いろいろなたとえで表現されています。

- ・ さやさやという美しい音
  - ・ 息してる
  - ・ 川の水そっくり
  - ・ うちんとこの小川みたいに
  - ・ ささやきかわすおしやべり
  - ・ 絶え間ない麦のほの合唱
- 一つのものでも、これだけ、いろいろにたとえられています。これにならって、身近な自然を、いろいろなたとえで表して、短文を作ってみましょう。

## 心情と情景



物語などで、風景をえがいても、それは、登場人物の気持ち（心情）とひびき合い、一体のものとしてえがかれるばあいがあります。これを「情景」といいます。

## 言葉の学習

▼「前後」や「左右」「高低」のように、反対の意味の漢字を組み合わせて、熟語を作ろう。

(勝) 敗      遠 (近)      (長) 短

《新しい漢字》

《新しい読み方の漢字》

心情 シヨウ

短文 タン

高低 テイ



《新しい漢字》

冒険 ボウケン

険 険 険 険 険 険 険 険 険 険 険 険 険 険 険 険

険 険

群がる むら

群 群 群 群 群 群 群 群 群 群 群 群 群 群 群 群

群 群 群 群

夫婦

婦 婦 婦 婦 婦 婦 婦 婦 婦 婦 婦 婦 婦 婦 婦 婦

婦 婦

団子 ダン

団 団 団 団 団 団 団 団 団 団 団 団 団 団 団 団

心情 ジョウウ

情 情 情 情 情 情 情 情 情 情 情 情 情 情 情 情 情 情 情 情

情 情



《新しい読み方をする漢字》

拍子 ヒヨウシ

覚ます さ

放す はな

群れ む

絶える た

短文 タン

高低 テイ

《特別な読み方をする言葉》

迷子 まいご



《新しい漢字》

《新しい読み方をする漢字》

《特別な読み方をする言葉》

読み方をノートに書きましよう。

冒<sup>ボウ</sup>険

群がる

夫婦

団子

心情

拍子<sup>ひょう</sup>

覚ます

放す

群れ

絶える

短文

高低

迷子



《新しい漢字》 《新しい読み方をする漢字》

《特別な読み方をする言葉》

読み方をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

冒<sup>ボウ</sup>険

ぼうけん

群がる

おらがる

夫婦

ふうふ

団子

だんご

心情

しんじょう

拍子<sup>ひょうし</sup>

ひょうし

覚ます

さます

放す

はなす

群れ

おれ

絶える

たえる

短文

たんぶん

高低

こうてい

迷子

まいご



## 宿題

次回の授業までにやる勉強です。

必ずやりましょう。

### 1. 漢字

新しい漢字・新しい読み方の漢字の練習をしましょう。

### 2. 音読

「麦畑」を読みましょう。

### 3. 言葉の学習

「前後」や「左右」「高低」のように、反対の意味の漢字を組み合わせて熟語を作りましょう。

《授業でやった熟語以外の、反対の意味の漢字の組み合わせを見つけよう。》



# JPN Class

Online school – 日本語で学ぼう

# 国語の学習

# 小学校

# 五年生

# 年間学習表



7月 (夏休み=授業は3回)	6月	5月	4月		
		<p><b>新聞記事から</b> 新聞記事の見出しの 違いについて考えた ことを発表しよう。</p>	<p><b>自分の意見を持つ</b> 自分の意見を発表し よう。話し手の意図 を聞き取ろう。</p>	<p>1年間の学習を通し て 先生の話を聞き、学 習を進めよう。</p>	<p>話す／聞く</p>
<p>こんな道があつたら 町の様子を観察し、 気が付いたことや 思ったことを書こう。</p>	<p><b>大陸は動く</b> 前半と後半に分けて、 書いてあることを短 くまとめよう。</p>	<p><b>新聞記事から</b> 新聞記事を短くまと めよう。(要約しよ う。) <b>詩を楽しもう</b> 見たり感じたりした ことをもとに、心の つぶやきを言葉にし よう。</p>	<p><b>やどかり探検隊</b> 物語を読んで、感じ たことや考えたこと を書こう。 <b>記録しよう</b> 心に残ったことを、 書留めよう。</p>	<p><b>新聞記事</b> 記事の要約をし、記 事に対する自分の意 見を書こう。</p>	<p>書く</p>
<p><b>麦畑</b> 情景を思いうかべな がら読もう。登場人 物の心情と情景が一 体のものでえがかれ ていることを読み取 ろう。</p>	<p><b>地図が見せる世界</b> 筆者が最も言いたい ことは、どういうこ とだろう。 <b>大陸は動く</b> 筆者はどんな考えで、 「大陸は動く」とい う題名をつけたのだ ろう。</p>	<p><b>詩を楽しもう</b> 文語の詩を読もう。 「自分」の伝え方に ついて考えよう。</p>	<p><b>やどかり探検隊</b> 主人公の気持ちかを考 え、自分と重ね合わ せて読もう。</p>	<p><b>新聞記事</b> 記事の内容を読み取 ろう。</p>	<p>読む</p>
<p><b>仮名づかいの決まり</b> 発音と違う書き方を する、言葉について 知ろう。</p>	<p><b>つなぎ言葉</b> つなぎ言葉の働きを 知り、つなぎ言葉を 使えるようになるう。</p>	<p><b>同じ音の漢字</b> 同じ音を持つ漢字そ れぞれの意味と使い 方を知ろう。</p>			<p>言葉</p>



12月	11月	10月	9月	8月 (夏休み=授業は3回)	
目的を考えて話し合おう 目的にそった、有意義な話し合いにするための方法を知ろう。					話す／聞く
わらぐつの中の神 自分の身近な物について、それがどういうものかが読む人にかかるように書こう。	調査したことをまとめよう 調査したいことを決めて、調べたことを作文に書こう。	大造じいさんとガン 大造じいさんの気持ちの移り変わりをまとめよう。	身近な環境 身近な環境について調べ、わたしたちができることは何か書こう。	読書記録 読書記録の書き方を知り、自分の同署記録を書こう。 おみやげ 宇宙人の宿題 「宇宙人」「戦争」「現代文明」について思ったこと、考えたことを書こう。	書く
わらぐつの中の神様 おばあちゃんの思い出話と、その前後の現在の話を配した構成を理解しよう。	「その人」と出会って 筆者が手話を通して心を通わせた経験と、それにもとづいた感動を読み取ろう。	大造じいさんとガン 情景を思いうかべながら読もう。	一秒が一年をこわす わたしたちの周りで実際に起きている問題を考えよう。	おみやげ 宇宙人の宿題 宇宙人に目を向けた二つの作品を読み比べよう。	読む
	敬語 正しい敬語の使い方を知らう。日常生活で使っている敬語をまとめよう。	漢語と和語 漢語と和語について知り、意味の違いを調べよう。	漢字のなりたち 今わたしたち使っている漢字が、どのように作られたのか知らう。	敬語 漢語と和語について知り、意味の違いを調べよう。	言葉

	3月	2月	1月 (冬休み＝授業は3回)	
	朗読をしよう 一年間 学習 した物語の中で、 一番好きな作品の 朗読をしよう。			話す／聞く
	月夜のみみずく 作品全体から感じ たこと、場面ごと の印象を書こう。	リレー物語を作ろう もらった物語の続 きを書こう。 推敲をしよう 書いた作文を、よ り良い文章になる ように推敲しよう。	言葉と気持ち 自分の気持ちや意 図を相手に伝える 短い文を書こう。	書く
	月夜のみみずく 「わたし」が「と うさん」と森に 入った初めての経 験、雪の森の中で 見た世界を想像し よう。	詩の広場 うれしいときや悲 しいとき、わたし たちの心は何を感 じ、目にはどんな 風景がうつってい るのか、考えよう。	言葉と気持ち 三つの事例を通し て、筆者は何を うったえようとし たのか考えよう。	読む
五年生の漢字 五年生で習った漢 字の復習をしよう。		言葉の組み立て 複合語の意味、ど んなふうにするの か考えよう。	漢字の読み方と使い 方 言葉によって読み 方が変わる漢字を 知り、正しく使え るようになるよう。	言葉



# JPN Class

Online school – 日本語で学ぼう

# 国語の学習

## 小学校五年生

## 七月 第②週

「いいね」

「チャンネル登録」

よろしくね！

また来週。

